

僕はジェイムス アンヘロ A. スミダ、16 歳、日本人とフィリピン人を両親に持つ子どもの一人です。ですが、僕の意味ではないのに、日本国籍が無くなってしまったため、今はフィリピン国籍です。私の母は日本国籍法のルールや必要条件について知らなかったのです。

国籍喪失は、僕の全ての幸せを失うこと、人生の約半分を失ったことを意味します。なぜならば、日本国籍なしでは僕の夢は満たされないからです。

僕はいつの日かパイロットになる夢を持っています。僕は現在ビザ無しでは日本に行くことができませんが、もし僕がパイロットになれば、日本に入国するためのビザを取得する必要がなく、何時でも日本に行き父親とコミュニケーションを取ることができます。僕は父親に会うためにいつでも日本に行く事ができます。

僕がまだ幼い時、僕は日本の伝統、習慣、言葉を学ぶたくさんの機会を失いました。もし、僕が日本国籍を失っていなければ、自分自身に後悔することはありませんでした。なぜならば、時々他の人達から差別を受けるからです。この問題は僕をととても傷つけます。クラスメートは僕が日本人なのか、どうしてフィリピンに住んでいるのか尋ねます。しかし、僕はこの問題に対して強くならなければなりません。

日本人とフィリピン人との婚内子としての僕の状況を理解して下さい。国籍を喪失した者として、僕たちは戦うために法廷の前にいます。全ての日本人とフィリピン人との婚内子の代表として、僕たちは、日本政府が日本の国籍法を改正することを要求します。僕たちが勝つことを願っています。